

委員会のうづしぎ

総務 教育

常任委員会

新庁舎の住所決まる

黒潮町入野5893番地



委員長 坂本 あや

●黒潮町の事務所の位置等を定める条例の一部改正

新庁舎の位置が決まりました。住所は、「黒潮町入野5893番地」となります。

庁舎の建設も順調に進んでおり、お正月休みには引越しをする予定です。

●黒潮町立避難集会所の設置及び管理に関する条例の制定



新庁舎完成イメージ図

田野浦地区に本町初めての避難集会所が完成したので、条例を制定しました。この集会所は地区の方々が通常の集



完成を祝う避難集会所（田野浦）

会所として利用し、管理もお願いするものですが、緊急時には不特定多数の方々を避難させることが出来る施設となります。

町内には、浸水想定地域内に集会所がある地区があり、集落と相談をしながら、整備を進めたいとのことでした。

●平成29年度一般会計補正予算

■町おこしの補助金 17万円
伊田郷の祭りを行うための補助金が決まりました。この事業費の対象となるのは、坂折地区のカツオのぼり祭りや農業の振興、水産資源を活用した取り組み、スポーツの振興など。町おこしを進める集落や団体が申請することが出来ます。

■スポーツを通じた幡多エリア協議会補助金 16万円
県東部で、昨年度から実施されているジュニアのスポーツ選手の発掘、育成のための事業。県補助50%、残り6市町村が按分し、力を持った選手を育てる取り組みが始まります。

平成29年度には、有名選手に来ていただき、小学校の1、2年生を対象としたスポーツが好きになる取り組みを始めます。翌年は発掘

された優秀なジュニアへの指導方法や、指導者のスキルアップを図る取り組みも進め、最終年度には、優れた選手、指導者を中央へ送り、トップレベルの選手育成を図っていくものです。

■大方文学学級文芸誌「大形」補助金 10万円
昭和40年から年6回の出版を続け、今年300号を発行することとなったので、記念行事を行う費用の補助をします。県内でも市町村文芸誌では例のない貴重な文芸誌の発行が継続されており、大変素晴らしい結果を残していただいています。



大方文学学級文芸誌 次号は300号